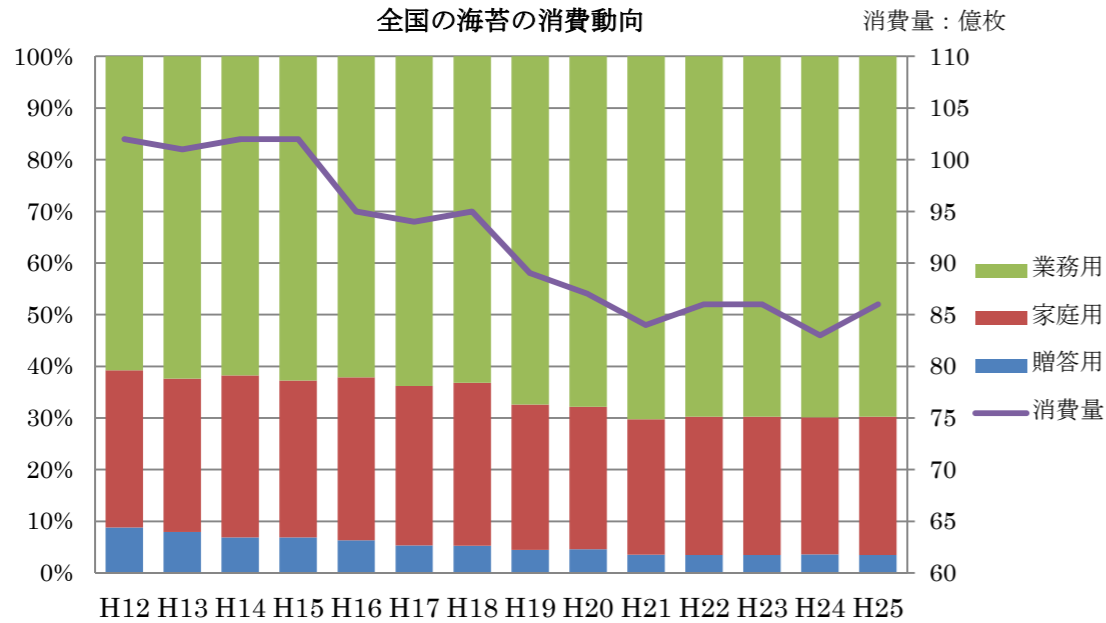
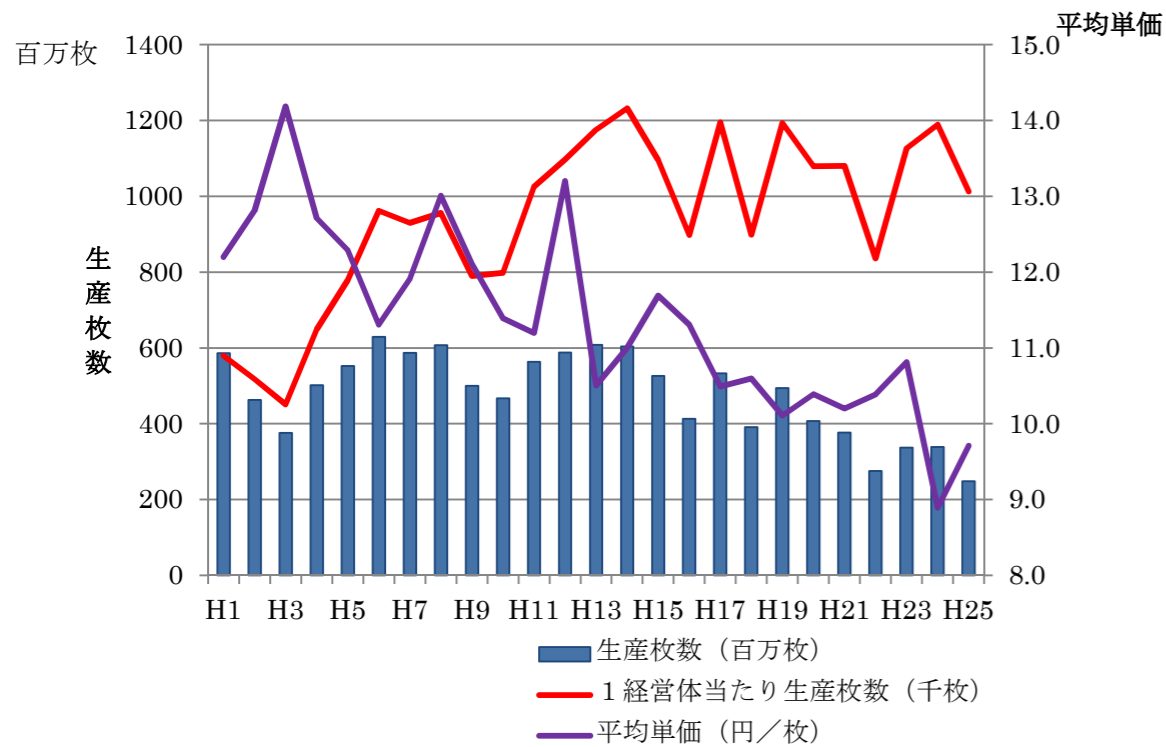


## 1. 全国の消費動向



- ・消費量の減少
- ・業務用向割合の増加（家庭用・贈答用の減少）

## 2. 千葉県の生産動向



- ・生産量の減少（要因：高齢化の進行、後継者不足）
- ・生産効率の向上（冷凍網や陸採など技術革新）
- ・共販平均単価の下落（要因：消費動向の変化）

## 本県海苔養殖の特徴と現状

### 特徴

全国シェアは小さいが、品質のよい海苔をつくる産地

- ①生産量は全国シェアで約4%
- ②漁期中に常に一番摘みが生産される
- ③「香りのよさ」は全国一との評価
- ④贈答用・家庭用を中心に消費
- ⑤大消費地に位置し首都圏でほぼ消費される

### 現状

価格下落と生産者減少により危機的な状況

- ①生産額30億円前後で、本県水産業の主要漁業である（県内魚種別生産額順位：2位）
- ②消費減少と業務向けへのシフトにより価格が下落している
- ③生産効率を上げている他県産地との競争が激化

## 業界・県が連携して総合的な対策を集中実施

### <のり養殖業構造改革・復興プラン>(H24)

- 生産規模の拡大  
→高速浸漬処理船の導入
- 生産コスト削減  
→海苔共同加工施設の設置支援

### 生産対策

### <千葉県海苔販売戦略>

(H27 策定予定)

- 千葉海苔のブランド化等  
→単価の向上

### 消費対策

別紙

### 試験・研究

- 青混ぜ海苔生産技術の開発
- 高付加価値海苔品種の開発
- 品質向上加工技術の開発